

検査情報月報 2月号 ◀ 概要版 ▶



Eiちゃん

▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、『検査情報月報』を発行しています。



年末食品収去検査結果(令和2年度)

年末食品等一斉点検事業は厚生労働省の通知に基づき、全国一斉に実施されます。

食品流通量が増加する年末及び食中毒患者が多発する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から行われるものです。

主な結果 ▶ 食品添加物検査 輸入品99検体、国産品14検体について、保存料、着色料、酸化防止剤など1,955項目を検査しました。酒類飲料1検体から表示にないソルビン酸(保存料)を検出し、食品表示法違反が疑われました。

▶ **細菌検査** 食肉製品・洋生菓子・そうざいなど56検体について、151項目を検査しました。規格基準違反及び衛生規範不適合はありませんでした。

魚介類中のPCB検査結果(令和2年度)

PCBは様々な用途に使用されてきましたが、分解されにくく、脂肪に溶けやすい性質があります。そのため、環境中に放出されたものは食物連鎖の上位に位置する生物に蓄積され、魚介類、肉類、乳製品などに汚染が広がりました。

また、大気や海洋などの循環により拡散し、北極圏などPCBを使用していない地域のアザラシやクジラなどの生物にも高濃度に蓄積されていることがあり、地球規模での汚染が問題となっています。

主な結果 ▶ 中央卸売市場本場で収去した市内に流通する魚介類5種5検体について、PCBの検査を行いました。その結果、**全ての検体で不検出**でした。

横浜市衛生研究所WEBページ情報(令和3年1月)

感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供するWEBページです。この記事ではアクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられていたかを解説しています。



主な結果 ▶ 総件数は 442,463 件でした。令和2年12月に比べて、8.5%増加しています。

▶ **アクセス件数上位 9位に「パストについて」が入りました。**新型コロナウイルス感染症の拡大とともに、1947年に出版されたフランスの小説『パスト』が注目を集めたことが影響しているようです。

横浜市 検査情報

検索

